

# 目次

5FU+CDDP .....	1
CA療法 .....	2
CDV .....	3
CPT-11 .....	4
DAC-TAM .....	5
DAV-Feron .....	6
FECOM療法 .....	7
Monthly ドセタキセル .....	8
PM療法 .....	9
weekly Paclitaxel+CBDCA .....	10
weeklyDoc+アバスチン .....	11
weeklyドセタキセル .....	12
weeklyパクリタキセル .....	13
ダカルバジン単独療法 .....	14
ニボルマブ .....	15
ニボルマブ（上皮系皮膚悪性腫瘍） .....	16
ニボルマブ+イピリムマブ併用療法→ニボルマブ維持 .....	17
ブレオ単独療法 .....	18
ペブレオ動注 .....	19
ペムブロリズマブ .....	20
ポテリジオ単独 .....	21
ヤーボイ .....	22

(別紙2)

## がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
5FU+CDDP	肛門管癌 有棘細胞癌	<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発癌 <input checked="" type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input checked="" type="checkbox"/> 術前化学療法(進行) <input checked="" type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	グラニセトロン3mg デカドロン注6.6mg デカドロン注1.65mg	1袋 1V 2A	点滴	30分	day 6, 7
②	5-FU注 生理食塩液	350mg/m <sup>2</sup> × 2回 1000mL × 2回	点滴	24時間持続 (12h × 2)	day 1 ~ 5
③	ランダ注 生理食塩液	50mg/m <sup>2</sup> 500mL	点滴	4時間	day 6, 7
④					
⑤					
1コースの期間  21日間 (3週)			投与スケジュール及び総コース数  3-4週間を1コースとして 2コース繰り返す		
その他 (特記事項など) ・ランダ点滴中は適切な量 (1日2L程度) のハイドレーションを行う。 ・ランダは総量500mLになるよう調製する。 ・イメンド併用 ・放射線治療と併用する場合あり					

## がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
CA療法	有棘細胞癌	<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発癌 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前化学療法(進行) <input checked="" type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	カイトリルバッグ デカドロン	3mg 8mg	点滴	30分	day1,2,3,
②	ランダ 生食	20-30mg/m2 500cc	div	2h	day 1,2,3
③	アドリアシン 生食	20-40mg/m2 100cc	div	30min	day 1
④	生理食塩液	50ml	点滴	10分(全開)	day 1,2,3
1コースの期間  28日間			投与スケジュール及び総コース数  4-5週の休薬期間をおいて繰り返す。総コースの決まりはない。		
その他(特記事項など) 生食によるhydrationとして day-1～day5に2000cc/24h(80cc/h)で24時間持続点滴したままで上記化学療法を実施する。 必要時はラシックス20mgをi.v.					

## がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
CDV	悪性黒色腫	<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発癌 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前化学療法(進行) <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	グラニセロンバッグ デカドロン注	3mg 9.9mg	点滴	30分	day1-6 (デカドロンday1のみ)
②	20%マンニトール	300ml	点滴	90分	day1
③	ランダ 生食	80mg/m <sup>2</sup> 500ml	点滴	4時間	day1
④	フィルデシン 生食	2mg/m <sup>2</sup> 50ml	点滴	15分	day2
⑤	ダカルバジン 5%ブドウ糖	140mg/m <sup>2</sup> 100ml	点滴	30分	day2-6
⑥	生食	50ml	点滴	10分(全開)	day1-6
1コースの期間			投与スケジュール及び総コース数		
28日間			3コース		

**その他(特記事項など)**

ダカルバジンは血管痛防止のため、調剤後直ちに遮光袋に入れ、速やかに点滴するとともに、点滴ルートも遮光すること。  
 CDDP腎毒性予防のため2500ml/day程度の補液を行う。  
 デカドロン16mgをday1のみグラニセロンバッグに混注する。  
 グラニセロンに変えて、day1のみにアロキシンを投与する場合もあり

## がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
CPT-11	有棘細胞癌	<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発癌 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前化学療法(進行) <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	デカドロン注1.65mg グラニセトロンバッグ3mg	2A 1袋	点滴	30分	day1,8,15
②	カンプト 生理食塩液	80-100mg/m <sup>2</sup> 500mL	点滴	90分	day1,8,15
③	生理食塩液	50mL	点滴	全開	day1,8,15
④					
⑤					
1コースの期間  28日間(4週間)			投与スケジュール及び総コース数  3投1休を1クールとして繰り返す。 PDまで継続		
その他(特記事項など) ・プレメディケーションは必要に応じ変更する。					

## がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
DAC-TAM	悪性黒色腫	<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発癌 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前化学療法(進行) <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	グラニセトロンバッグ デカドロン	3mg 3. 3mg	点滴	30分	day1、2、3
②	ダカルバジン 5%ブドウ糖	220mg/m <sup>2</sup> 250mL	点滴	60分	day1、2、3
④	ニドラン 生食	60mg/m <sup>2</sup> 250mL	点滴	60分	day1
③	ランダ 生食	25mg/m <sup>2</sup> 500mL	点滴	4時間	day1、2、3
⑤	生食(フラッシュ用)	50mL	点滴	5分	day1、2、3
	ノルバデックス	20mg/日	内服		day1-28
1コースの期間			投与スケジュール及び総コース数		
28日			PDまで継続		

**その他(特記事項など)**

- ・ダカルバジンは血管痛防止のため、調製後直ちに遮光袋に入れ、速やかに点滴するとともに、点滴ルートも遮光すること。
- ・CDDP腎毒性予防のため2000mL/日程度の補液を行い、上記薬剤は側管から投与する。
- ・グラニセトロンに変えてアロキシをday1にのみ使用する場合があります。

## がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
DAV-Feron	悪性黒色腫	<input type="checkbox"/> 進行・再発癌 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前化学療法(進行) <input checked="" type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	カイトリルバッグ デカドロン	3mg 4mg	点滴	30分	day1、2、3、4、5
②	ダカルバジン 5%ブドウ糖	80-140mg/m <sup>2</sup> 100mL	点滴	30分	day1、2、3、4、5
③	フェロン	300万単位	皮下注		day1~10
④	ニドラン 生食	50-80mg/m <sup>2</sup> 250mL	点滴	60分	day1
⑤	オンコビン 生食	0.5-0.8mg/m <sup>2</sup> 50mL	点滴	15分	day1
⑥	生食(フラッシュ用)	50mL	点滴	5分	day1、2、3、4、5
1コースの期間			投与スケジュール及び総コース数		
28日			5コース		

その他(特記事項など)

ダカルバジンは血管痛防止のため、調製後直ちに遮光袋に入れ、速やかに点滴するとともに、点滴ルートも遮光すること。フェロンはday1~day5となる場合もある。

## がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
FECOM療法	乳房外パジェット病  汗腺癌	<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発癌 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前化学療法(進行) <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	カイトリルバック	3mg	点滴	30分	day1,2,3,4,5,6
②	生理食塩水	100ml	点滴	30分	day1
③	ファルモルビシン 生理食塩水	40mg/m2 50ml	側注	全開	day1
④	マイトマイシン 注射用水	3.5mg/m2 20ml	側注	全開	day1
⑤	オンコビン 生理食塩水	0.7mg/m2 50ml	側注	全開	day1
⑥	パラプラチン 生理食塩水	300mg/m2 250ml	点滴	1時間	day2
⑦	5-FU注 生理食塩水	350mg/m2 100ml	点滴	30分	day2,3,4,5,6
③	生理食塩液	50ml	点滴	10分(全開)	day1,2,3,4,5,6
1コースの期間  4週間			投与スケジュール及び総コース数  4週間ごとに継続する。可能な限り継続する。		
その他(特記事項など) デカドロン8mgは、day1, 2にカイトリルバックに混注					



## がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
Monthly ドセタキセル	血管肉腫 外陰部パジェット病 汗腺癌	<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発癌 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前化学療法(進行) <input checked="" type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	カイトリル点滴静注用バッグ デカドロン	3mg 8mg	点滴	30分	day1
②	ドセタキセル注 生理食塩液	70mg/m <sup>2</sup> 250mL	点滴	60分	day1
③	生理食塩液	50mL	点滴	全開 フラッシュ	day1
④					
⑤					
⑥					
1コースの期間			投与スケジュール及び総コース数		
3週(21日)			1投2休を1コースとして繰り返す。可能な限り継続する。		

その他(特記事項など)

day2: デカドロン8mg内服分2朝夕、 day3: デカドロン4mg内服分1朝

## がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
PM療法	有棘細胞癌	<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発癌 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前化学療法(進行) <input checked="" type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	ペプレオ 生食	5mg(1回2.5mgを1日2回) 5cc	朝夕にim	one shot	day 1,2,3,4,5,6
②	マイトマイシン 注射用水	10mg 20cc	iv	one shot	day 7
③					
④					
⑤					
⑥					
1コースの期間  7日間			投与スケジュール及び総コース数  1日休薬期間をおいて3-4コース繰り返す。		
その他(特記事項など) 本体の側管より②をi.v.する					

## がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
weekly Paclitaxel+ CBDCA	悪性黒色腫	<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発癌 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前化学療法(進行) <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	デキサート注6.6mg ガスター注20mg アロキシバック0.75mg ポララミン注5mg	1V 1A 1袋 1A	点滴	ルート確保 全開	day1
②	生理食塩液	100mL	点滴	30分	day1
①'	デキサート注6.6mg ガスター注20mg ポララミン注5mg 生理食塩液	1V 1A 1A 50mL	点滴	ルート確保 全開	day8, 15
②'	グラニセトロンバッグ3mg	1袋	点滴	30分	day8, 15
③	パクリタキセル 生理食塩液	70-80mg/m <sup>2</sup> 250mL	点滴	60分	day1, 8, 15
④	カルボプラチン 生理食塩液	AUC=5-6 250mL	点滴	60分	day1
⑤	生理食塩液	50mL	点滴	フラッシュ	day1, 8, 15
1コースの期間  28日(4週間)			投与スケジュール及び総コース数  状態に応じPDまで継続		
その他(特記事項など) ・CBDCA(カルボプラチン)の投与量=AUC×(GFR(mL/min)+25)で計算。AUCは5-6に設定。 アロキシ投与時は、他の5HT3(内服を含む)制吐剤は原則使用しない。					

(別紙2)

## がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
weeklyDoc+アバスチン	悪性黒色種	<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発癌 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前化学療法(進行) <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	カイトリルバッグ デカドロン6.6mg	1袋 1V	点滴	30分	day 1.8.15
②	ドセタキセル 生理食塩液	25mg/m <sup>2</sup> 250mL	点滴	60分	day 1.8.15
③	アバスチン 生理食塩液	5mg/kg 100mL	点滴	30分~ 90分	day 1.15
④	強力材ミノファゲンジー 生理食塩液	2A 100mL	点滴	全開で	day 1.8.15
⑤					
⑥					
1コースの期間  4週(28日間)			投与スケジュール及び総コース数  アバスチンは可能な限り併用 4週1コースをPDまで継続		
その他(特記事項など) ・アバスチンは初回投与時90分で点滴。初回にinfusion reaction等の副作用を生じていなければ、2回目は60分。さらに問題なければ、3回目以降は30分で点滴する。					

## がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
Weekly ドセタキセル	血管肉腫 類上皮血管内皮腫 乳房外パジェット病	<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発癌 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前化学療法(進行) <input checked="" type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	グラニセトロンバッグ ポララミン注 デキサート注	3mg 5mg 6.6mg	点滴	30分	day1,8,15
②	ワンタキソテール注 生理食塩液	25mg/m <sup>2</sup> 250mL	点滴	60分	day1,8,15
③	生理食塩液	50mL	点滴	フラッシュ	day1,8,15
④					
⑤					
1コースの期間  4週(28日)			投与スケジュール及び総コース数  3投1休を1コースとして繰り返す。可能な限り継続する。		
その他(特記事項など)					

## がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
weekly/パクリタキセル	血管肉腫	<input type="checkbox"/> 進行・再発癌 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前化学療法(進行) <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input checked="" type="checkbox"/> その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	デキサート注6.6mg ガスター注 ポララミン注5mg 生理食塩液	1V 1A 1A 50mL	点滴	全開で (5分程度)	day 1,8,15
②	グラニセトロンバッグ3mg	1袋	点滴	30分	day 1,8,15
③	パクリタキセル 生理食塩液	80mg/m <sup>2</sup> 250mL	点滴	60分	day 1,8,15
④	生理食塩液	50mL	点滴	全開	day 1,8,15
⑥					
1コースの期間  28日(4週間)			投与スケジュール及び総コース数  3投1休を1コースとして繰り返す。 可能な限り継続する。		
その他(特記事項など)					

## がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
ダカルバジン単独療法	悪性黒色腫	<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発癌 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前化学療法(進行) <input checked="" type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	アロキシ注0.75mg デカドロン注 生理食塩液	1V 9.9mg 100mL	点滴	30分	day1、22、43...
②	ダカルバジン 5%ブドウ糖	1000mg/m <sup>2</sup> 500mL	点滴	4時間	day1、22、43...
③	強カネオミノファーゲンシー 生理食塩液	40mL 100mL	点滴	30分	day1、22、43...
1コースの期間  21日(3週間)			投与スケジュール及び総コース数  3週間ごとに繰り返す。可能な限り続ける。		
その他(特記事項など) ・ダカルバジンは血管痛防止のため、調製後直ちに遮光袋に入れ、速やかに点滴するとともに、点滴ルート等も遮光すること。					

## がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
ニボルマブ	悪性黒色腫	<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発癌 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前化学療法（進行） <input checked="" type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	オブジーボ 生理食塩液	240mg/body 100mL	点滴	30分	day1
②	生理食塩液(フラッシュ)	50mL	点滴	15分	day1
1コースの期間  14日(2週間)			投与スケジュール及び総コース数  PDまで継続		
その他(特記事項など) インラインフィルター(0.2または0.22 $\mu$ m)を使用して投与する。 infusion reactionを認めた場合は、次サイクルより前投薬の追加を考慮する。 4週間間隔で投与する場合は、480mg/bodyとする。					



## がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
ニボルマブ（上皮系皮膚悪性腫瘍）	根治切除不能な進行・再発の上皮系皮膚悪性腫瘍	<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発癌 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前化学療法（進行） <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	ニボルマブ 生理食塩液100mL	240mg/body 1瓶	点滴	30分	day 1
②	生理食塩液50mL	1瓶	点滴	フラッシュ	day 1
③					
④					
⑤					
②					
1 コースの期間  14日間			投与スケジュール及び総コース数  PDまで		
その他（特記事項など） メンブランフィルターを用いたインラインフィルター（0.2または0.22μm）を使用して投与する。 ※4週間間隔で投与する場合は、480mg/bodyとする。					

(別紙2)

## がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
ニボルマブ・イピリムマブ併用療法 →ニボルマブ維持療法	根治不能な悪性黒色腫	<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発癌 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前化学療法(進行) <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	オプジーボ 生理食塩液	80mg/body 100ml	点滴	30分	day 1
②	生理食塩液	50ml	点滴	30分	day 1
③	ヤーボイ 生理食塩液	3mg/kg 100ml	点滴	90分	day 1
④	生理食塩液	50ml	点滴	フラッシュ	day 1
⑤	オプジーボ 生理食塩液	240mg/body 100ml	点滴	30分	day 84以降
②	生理食塩液	50ml	点滴	フラッシュ	day 84以降
1コースの期間 オプジーボ・ヤーボイ併用 4クール		投与スケジュール及び総コース数 オプジーボ・ヤーボイ併用 3週毎計4クール その後維持療法としてオプジーボ2週毎を繰り返す			
その他(特記事項など) メンブランフィルターを用いたインラインフィルター(0.2または0.22 $\mu$ m)を使用して投与する。 inufusion reactionを認めた場合は、次サイクルより前投薬の追加を考慮する。 ニボルマブ維持療法において、4週間間隔で投与する場合は、480mg/bodyとする。					

(別紙2)

## がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
ブレオ単独療法	皮膚がん	<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発癌 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前化学療法(進行) <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	ブレオ 生理食塩液	15mg~30mg/body 適量	筋注		day 1
	又は				
①	生理食塩液	50mL	点滴	ルート用 及びフラッシュ用	day 1
②	ブレオ 生理食塩液	15mg~30mg/body 50mL	点滴	15分	day 1
1コースの期間  1日			投与スケジュール及び総コース数  週2回投与を原則として、必要に応じて連日 もしくは週1回投与に増減する		
その他(特記事項など) ・筋注の場合はブレオ1V(30mg)あたり生理食塩液5mLで溶解し、必要量を筋注する。 ・ブレオの投与量は300mg/bodyを上限とする。					

(別紙2)

## がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
ペプレオ動注	有棘細胞癌	<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発癌 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前化学療法(進行) <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	ペプレオ 生理食塩液	5-10mg/body 20ml	動注	5分	day1
②					
③					
④					
1コースの期間  7日間			投与スケジュール及び総コース数  通常、2-3回投与/週。症状に応じて1日1回連日投与から週1回投与まで適宜増減。		
その他(特記事項など) ・投与濃度は、5-10mgを使用する。 ・総投与量は、150mgとする。					

(別紙2)

## がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
ペムブロリズマブ	悪性黒色腫	<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発癌 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前化学療法（進行） <input checked="" type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	ペムブロリズマブ 生理食塩水	200mg/body 100mL	点滴	30分	day1
②	生理食塩水	50mL	点滴		day1
③					
④					
⑤					
⑥					
1コースの期間 21日		投与スケジュール及び総コース数 3週間ごとに繰り返す。 原疾患増悪または患者不耐容まで。 ただし術後補助療法の場合は、投与期間は12カ月間までとする。			
その他（特記事項など） ・6週間間隔で投与する場合は、400mg/bodyとする。					

(別紙2)

## がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
ポテリジオ単独	再発又は難治性のCCR4陽性皮膚T細胞リンパ腫、末梢性T細胞リンパ腫	<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発癌 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前化学療法（進行） <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	レスタミン錠 カロナール	5錠 500mg	経口	点滴開始時	day1
②	ソル・コーテフ注 生理食塩液	200mg 50mL	点滴	全開	day1
⑤	生理食塩液	50mL	点滴	30分	day1
④	ポテリジオ 生理食塩液	1mg/kg 250mL	点滴	2時間	day1
⑤	生理食塩液	50mL	点滴	15分	day1
1コースの期間  7日間			投与スケジュール及び総コース数  8コース		
その他（特記事項など） ・ Infusion reactionに注意が必要である。初回投与時は心電図モニターを装着する。					

(別紙2)

## がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
ヤーボイ	悪性黒色腫	<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発癌 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前化学療法(進行) <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	ポララミン 生理食塩液	1A 100mL	点滴	15分	day 1
②	ヤーボイ 生理食塩液	3mg/kg 100mL	点滴	90分	day 1
③	生理食塩液	50mL	点滴	フラッシュ	day 1
1コースの期間 21日(3週間)			投与スケジュール及び総コース数 4コース施行		
その他(特記事項など) ・メンブランフィルターを用いたインラインフィルター(0.2又は0.22 $\mu$ m)を使用して投与する。 ・infusion reactionを認めた場合、次コースより前投薬(抗ヒスタミン薬、副腎皮質ステロイド等)を考慮する。					